

Standard Program Packageのインストール手順(Linux)

以下の手順に従い、Standard Program Packageをインストールします。

※本手順は、Linux OSのみ必要です。

- (1) rootユーザーで、対象機種上のLinuxにログインします。
- (2) Red Hat Enterprise LinuxでN8190-163/164/175/176使用時、
Starter Packを適用する前に以下のパッケージをインストールします。
RHEL8の場合 : libnl3, libhbaapi
- (3) Red Hat Enterprise Linuxで
N8103-189/190/191/192/193/194/195/196/201/237/238/239使用時、
Starter Packを適用する前に以下のパッケージをインストールします。
RHEL9の場合 : chkconfig, initscripts
- (4) ESMPRO/ServerAgentServiceがインストールされている場合は以下のコマンドで
ESMPRO/ServerAgentServiceのサービスを停止します。
引数に "stop" を指定して、ESMRestartコマンドを実行します。
/opt/nec/esmpro_sa/bin/ESMRestart stop
※ESMRestartコマンドが存在しない場合、ESMPRO/ServerAgentServiceはインストールされていませんので、サービスの停止は不要です。
- (5) LinuxにStandard Program Packageをインストールします。
 1. 光ディスクドライブに「準備」で作成したStarter Pack DVDをセットします。
 2. rootユーザーでログインします。以降、コンソール端末で操作してください。
 3. マウントポイントを作成します。作成済みの場合は、本操作は不要です。
mkdir /media/cdrom
 4. Starter Pack DVDをマウントします。
mount -r -t iso9660 /dev/sr0 /media/cdrom

5. smartupdateディレクトリへ移動します。

```
# cd /media/cdrom/packages/
```

6. 以下のコマンドを実行します。

```
# ./clean-cache.sh
```

--> "Are you sure you want to delete SUM cache files?" の問い合わせ
には "y" を入力します。

--> "Press Enter to continue" の問い合わせにはEnterキーを押します。

```
# ./smartupdate --s --softwareonly --ignore_tpm --ignore_warnings
```

※smartupdateコマンド実行中、次のエラーメッセージが出力される場合が

ありますが、特に影響ないため無視してください。

```
qede 0000:xx:xx:x: Direct firmware load for xctestdummy.bin failed  
with error -2
```

```
[qed_nvm_flash:xxxx(ethX)]Failed to find 'xctestdummy.bin'
```

```
[qed_dbg_dump:xxxx(ethX)]Collecting a debug feature ["xxxxxxxxx"]
```

```
[qed_dbg_nvm_image:xxxx(ethX)]Collecting a debug feature  
["xxxxxxxxx"]
```

7. libbnxt_reパッケージがインストールされている場合は、以下のコマンドでアンインストールします。

```
# rpm -e libbnxt_re
```

8. OS を再起動します。

```
# reboot
```

以上で作業は終了です。